

事務事業名	決算統計事務				担当	総務部 企画課 財政係	
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			電話番号	0285-83-8104	
施策名	4	財政の健全化			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	地方自治法第252条の17の5第1項及び第2項					<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和29 年度~)	
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	6. 企画費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度)		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算統計とは、正式には「地方財政状況調査」といい、普通会計決算（一般会計＋公営企業会計以外の特別会計）及び公営企業会計決算について、全国統一された方法で分類・分析し、法令に基づき総務省に報告するもの。</li> <li>・最終的には、全国集計され「地方財政白書」として公表される。</li> <li>・本事務では、うち普通会計決算統計についての事務を行う。</li> <li>・具体的分類は、次のとおりである。</li> </ul> 歳出目的別分類・性質分類、物件費・補助費・維持補修費・公債費・扶助費の状況、投資的経費の状況、貸付金、投資、出資金の状況、地方債の状況、債務負担行為の状況、歳入内訳・財源内訳、歳入内訳、収入の状況、市税徴収実績等						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
24年度実績 23年度普通会計分歳入伝票一覧表、歳出伝票一覧表の打ち出し 伝票を元に目的別・性質別等に分類 必要に応じ各課より内容の聴取 調査票作成 県ヒアリング  25年度計画 24年度に同じ		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア 決算統計に要した日数	日	100	100	100	100	
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
普通会計決算		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア 普通会計歳入決算額	千円	31,567,201	32,352,612	33,784,100	33,860,536	
		イ 普通会計歳出決算額	千円	29,501,283	29,735,664	30,261,497	31,365,242	
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
決算内容を調査票に基づき、分類・分析し、国・県に報告		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア 項目別歳入決算額	千円	31,567,201	32,352,612	33,784,100	33,860,536	
		イ 項目別歳出決算額	千円	29,501,283	29,735,664	30,261,497	31,365,242	
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果 (どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)		⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) の推移						
法令に基づく報告を行うとともに真岡市の財政状況を分析し、今後の財政運営の資料とする。		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア 単年度収支	千円	715,863	441,939	1,513,937	770,887	
		イ 財政力指数	-	0.928	0.815	0.804	0.826	
		ウ 公債費比率	%	11.4	10.2	9.7	9.2	
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	960	960	960	960	
		人件費計 (B)	千円	3,894	4,097	4,072	4,034	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,894	4,097	4,072	4,034		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・法令に基づき開始された。
②事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事務に基づく財政分析に加えて、バランスシートの作成・公表が行われるようになった。</li> <li>・平成20年度から、財政健全化法に基づく4つの健全化判断比率の算定及び公表が義務づけられる。</li> <li>・合併に伴い、分類・分析量が多くなる。</li> </ul>
③この事務事業に対して関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・決算統計を行うことにより適切な財政運営を目指すことができる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・全国統一の事務であり、財政運営の基礎事務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・全国統一の事務であり、調査対象、項目等が定められている。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・全国統一の事務であり、向上の余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・全国統一の事務であり、単独の廃止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？  ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない  <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・職員による統計事務であり、特別の事業費はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・決算統計のために必要な人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・受益者負担の対象外の事務である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							